

《担当者名》○高橋尚明 鈴木伸弥 鈴木英樹 泉唯史 吉田晋 小島悟 武田涼子 佐々木祐二 澤田篤史
大須田祐亮 長谷川純子 中村宅雄 山根裕司 佐藤一成 岩部達也 多田菊代

【概要】

これまでに学習した専門知識および臨床実習における経験をもとに、特に理学療法評価、理学療法プログラムの立案と実施、理学療法実施後の再評価および報告、理学療法プログラムの追加変更の主眼をおいた実習を行い、実際の医療機関での症例担当を通じて総合的な理学療法のプロセスを経験する。さらに担当症例のレジュメ作成や報告、チーム医療体制の経験・情報交換などを行うことで、医療専門職種としての総合的な役割を理解する。

【学修目標】

基本的理学療法をある程度の助言・指導のもとに行えるために、実際の対象者に対し、評価や治療を実施する機会をできるだけ多く経験し、理学療法士として必要な基本的評価・治療スキルを向上させる。

1. カルテや他部門から必要な情報を選択でき、また不足する情報を補うために患者本人や家族、他部門のスタッフなどから聴取することができる。
2. 病状や疾患を考慮して適切な検査・測定項目を選択することができる。
3. 基本的な検査・測定を正確に実施することができる。
4. 指導者の助言のもと一般情報、検査・測定結果を統合的に解釈することができる。
5. 指導者の助言のもと問題点を抽出し、参加レベルの主目標およびそれを実現するための活動レベル、機能・構造レベルの副目標を設定することができる。
6. 指導者の助言のもとEBMや患者背景を考慮した適切な理学療法プログラムを立案することができる。
7. 基本的な理学療法を実施できる。
8. 実施した内容、結果、評価などについて、専門用語を使用し簡潔で客観的な表現を用いて記録できる。
9. 症例を担当して得られた知見について口頭および文書によって報告することができる。
10. 指導者の助言のもと症状や治療成果など経過に合わせて適切に治療プログラムやゴールを変更することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	オリエンテーション	・臨床実習の日程と進め方について ・臨床実習の課題と提出方法について ・臨床実習の評価方法について	高橋尚明 鈴木伸弥
	臨地実習	医療機関における臨床実習を通じて基本的理学療法技術を身につける	臨床実習指導者
	学内報告会	症例検討会を通じて臨床実習で学んだ知識、技術を共有し学びを深める	全担当教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

臨床実習での到達度50%、報告書30%、報告会でのプレゼンテーション20%で評価する。

【備考】

「臨床実習の手引き」を配布する。

【学修の準備】

「臨床実習の手引き」を熟読し、準備しておくこと。実習先の施設の特性（病期や主な対象疾患など）について事前に調べ、必要な知識、技術の整理しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）人は人の中でこそ人として生きていけます。お互いがお互いの命や生きることの意味を大切に思える心と感性、そのために必要な幅広い教養、そしてそれを対象者と共有することのできるコミュニケーションを身につけます。

（DP2）近代医療は“チーム医療”がとても重要です。各医療職の専門性はますます進化していきますので、今後さらに“チーム医療力”が病院・施設などの“臨床力”として特に重要になります。自分の職種と他の職種のそれぞれの役割と専門性をきちんと理解し、患者と家族をチーム医療力でしっかりとサポートできる能力を身につけます。

（DP3）医学の進歩によって救命ができるようになり、また平均余命も伸びてきました。これからは、健康を損なっている人、病气やけがで心身に障がいを持っている人たちが地域でその人らしい生活を営めるように、保健・医療・福祉の各分野で活躍する

専門職種が連携しあって、地域全体で支援していくことが重要です。その視点を持って理学療法の専門的な知識と技術を適切に提供できる能力を身につけます。

(DP4) リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

(DP5) 世界の、そして我が国の人口構成の変化、価値観の変化、文化や暮らしの変化、そして絶えず発展し続ける科学、そして医学。その中で私たちは常に人々の健康とより良い暮らしへのニーズに理学療法科学をもって応えていかなければなりません。その専門性をより広く、深く、科学的に追及していくために、能動的に研修と研究を通して自己研さんしていける能力を身につけます。